

平成 30 年 第 2 回大河原町教育委員会定例会会議録

1 招集日時 平成 30 年 2 月 15 日（木） 午後 2 時 50 分（総合教育会議終了後）

2 招集場所 大河原町役場 議員執務室

3 出席委員 舟山幸枝委員、丹羽宜博委員、古山陽子委員、齋一志教育長

4 説明のため出席した者

教育総務課長 尾形 彰、生涯学習課長 大槻 文彦、学校教育専門監 池田 尚人

5 開 会 午後 2 時

6 平成 30 年第 1 回教育委員会定例会会議録の承認について

舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。

丹羽委員、古山委員 署名。

7 平成 30 年第 2 回教育委員会定例会会議録署名の委員指名について

舟山委員 | 齋教育長、舟山委員を指名する。

8 教育長報告

報告第 7 号 大河原町小学校・中学校図書司書補助員設置要綱の一部改正について

（教育総務課長説明）

大河原町小学校・中学校図書司書補助員設置要綱の一部改正についてご説明申し上げます。前回報告事項にあった教員補助者等と同様に、来年度から身分を一般職非常勤職員とし、町の非常勤取扱要綱改正により通勤手当の支給対象となる。資料は別紙資料である。

（質 疑） なし

舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。

9 議事

議案第 4 号 県費負担教職員の異動等の内申について

舟山委員長

議案第 4 号は人事案件につき大河原町教育委員会会議規則第 5 条第 1 項により、公開しないことにしてよろしいか。

委員全員

異議なし。

舟山委員長

異議なしですので、これより公開しない会議を進める。

舟山委員長

（委員全員に諮って）承認する。

議案第5号 大河原町教育振興基本計画（第2期）について

（教育総務課長説明）

大河原町教育振興基本計画（第2期）についてご説明申し上げます。資料は別紙資料である。

平成29年から作業を始め、策定委員会に諮問をし、策定作業を進め完成したものを策定委員会で答申を受けたものである。今回は平成30年度～34年度の期間になる。先ほどの総合教育会議で配布した内容である。パブリックコメントも実施したが意見要望はなかった。先月下旬の議会の全員協議会では複数の議員より質問を受け、了承を受けている。今回の議案で了承を受けた後に、3月議会に上程する予定である。

（質 疑） なし

舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。

議案第6号 平成30年度大河原町教育基本方針及び教育重点施策について

（教育総務課長説明）

平成30年度教育基本方針及び教育重点施策についてご説明申し上げます。資料は別紙のとおりである。これまで宮城県教育基本方針に基づいて毎年策定していたが、平成29年4月5日付『第2期宮城県教育振興基本計画』及び「第2期宮城県教育振興基本計画第1次アクションプラン」の策定について』で通知があったとおり、教育基本方針の策定を廃止し、教育振興基本計画に一本化をすることとなった。本町においても、県と同様に今回から一本化するものである。教育基本方針の策定は廃止し、より具体的な重点的取組を明示し具体的に施策展開をしていくこととしたい。

また、教育基本方針の12の基本的方向に対し、教育基本振興計画の施策・具体策を示し、年度ごとの重点的取組について、具体的な施策や年度予算等の整合性を図り、明示することとしたいと考えている。

（質 疑）

丹羽委員 | 施策展開も多種多様であり、本当に大変だと思う。皆さん身体に気を付けて頑張ってください。

舟山委員 （委員全員に諮って）承認する。

10 その他

（1）教育長報告

（説明者：齋教育長）

資料は別紙資料（校長会資料）である。

I 大河原中学校 みごとな立志式（伝統行事の活性化）

生徒自身が創造した立志式

○先生方を誇りに思っている

○立志式の歌 「夢輝いて」 先生と生徒で作詞作曲 自信と誇りが見えた

大変立派な成人式に参列者感動 大河原中学校が向上の循環に入った

Ⅱ 自分でやり抜く力を育てたい

＜大河原町の子供＞

○学力が高い ○読書量が多い ○礼儀正しい ○親切だ ○優しい

●少しのショックでもなえない**楽天性**が欲しい

●一人になっても自信を失わない**先見性**が欲しい

●ひやかしなどを「サラッと流す」**しなやかさ**が欲しい

Ⅲ 教育事務所から

人事異動関係の日程連絡

事故防止の徹底

人事異動に伴う引き継ぎ的確に

春休みの児童生徒の事故防止 事前指導徹底

Ⅵ 文科省最新情報

1 「総合教育施策局」の新設

社会教育課 → 生涯学習推進課 青少年教育課 → 生涯学習推進課

教職員課 → 教育人材育成 教員養成 → 教育人材育成課

2 働き方改革

(1) 「勤務時間」を意識した働き方を

- ・ ICT、タイムカード等で勤務時間を把握すること
- ・ 留守番電話の活用
- ・ 役割分担を明確に

(2) 組織で業務改善を

- ・ 改善計画策定すること
- ・ 校務支援システム導入促進
- ・ 精選、合理化
- ・ 学校徴収金を教員の業務としないこと
- ・ 事務職員を活用し業務改善

(3) 国として支援すること

- ・ 勤務時間管理アドバイザー派遣
- ・ 「チーム学校」スタッフ配置促進
- ・ 小学校における専科教員や中学校における生徒指導担当の充実

3 英語教育改革

4 学習指導要領改定に関するスケジュール

	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度
幼稚園	答申	周知徹底	全面实施			
小学校	答申	周知徹底	移行期間		全面实施	
			教科書検定	採択・供給		
中学校	答申	周知徹底	移行期間		全面实施	
			教科書検定	採択・供給		

V その他

管内教育長会決定事項

- ①勤務時間 退庁時間は上限を 20 時とする。
- ②部活動 朝練は原則禁止とする。ただし中体連及び新人大会は3間前から認める。
- ③部活動 学期中は週当たり 2 日の休養日を設ける。ただし中体連及び新人大会はこのとおりではない。
- ④休養日を 105 日以上とし、年間計画に位置付ける。

(質 疑)

丹羽委員	小学校の英語教科化は本当に大変なことである。英語の自動翻訳機も近い将来出るのではないかと思うが。
専門監	携帯ではできるようになっているので、きっとそのようになると思います。国際会議は基本的に英語に集約しているのではないかと思う。
丹羽委員 教育長	英語だけでなくほかの言語もすぐ翻訳してくれるものが出てくると思う。 まず日本語で何を正しく話すか、自分の考えを主張することができるかが大事だと思う。
丹羽委員	日本は明治の時代にほとんどの英語を和訳している。だから英語でなく日本語で大学も授業ができたのだという人もいる。日本はそれだけ知的レベルが高いのだと思う。
教育長 舟山委員 専門監	今までも教育行政で多額の投資をしてきているが、成果がみられない。 近隣の韓国等はどうなのか。 韓国等の東南アジアは、外国の大学に進むのが一般的なので、英語教育が進んでいる。日本も少子化になってくると、労働人口で外国の人が入ってきた時に、現場を監督する等で、英語が確実に必要になってくる。
古山委員	子供が英語科の高校に通っているが、家庭も仕事などで保護者も英語ができる家庭も多い。わが子は英語が好きでその高校を選んだが、本人が将来何になりたいのかを考え、興味のある分野の力を伸ばしてあげたいと思っている。小学校でも英語を教えることも必要ではないかと思う。小さい頃からの教育も大事ではないかと思う。
丹羽委員	わが子は英検 2 級を持っているが、文章は書けても実際対面すると全く話せない。対面で話せる力が必要である。
専門監 丹羽委員 舟山委員	現実的な必要感や切迫感が、語学力を伸ばすことにとっても大事だと感じている。 しなやかさを育てたいという話だが、とても大事だと思う。 苦労する場面も体験することが大事なのではないか。今回の冬季オリンピックで活躍するゆとりの世代を見ていていると、大けがをする等のつらい苦労を経験して、しなやかに立ち直り、あのような素晴らしい活躍をしている。
古山委員	英語の話だが、実際に英語を話す機会を増やすというのが良いのではないか。A L T でなくても、地域に住んでいる外国人と、英語で話す触れ合う機会を設けるなど、そんな機会があると良いのではないか。

舟山委員	英語は語学なので、英語に触れる時間を増やすことは有効だと思う。難しい言葉 を話すということではなく、英語で通じる機会を設けて、英語に慣れることが大事。 自分の英語が通じれば、自然に度胸も付き、自信になると思う。
教育長	A L Tは授業で展開し、地域に住んでいる様々な国から来ている外国人と英語で 触れ合う日を設けることも大事なので、そのような機会も考えていきたい。

1 1 各課長報告

(説明者：教育総務課長、生涯学習課長)

3月の行事予定を説明申し上げる。別紙資料である。

1 2 次回教育委員会の開催日程について

舟山委員	次回の定例会は、平成30年3月23日(金)午後2時から開会する。
------	----------------------------------

1 3 閉会宣言 午後4時00分

平成30年3月23日

署名委員

署名委員
